

こどもがひとりの人間として尊重される社会をめざし、鑑賞とあそびを通して、生きる知恵と力を育てます。

2014年度は他団体との関係づくりや 柏・愛らぶ基金に積極的に取り組みます

総会報告 当会の2014年度総会を6月1日開催し、議案はすべて原案どおり承認されました。

具体的内容は省略しますが、昨年同様、「鑑賞事業」「あそび事業」「子どもの表現活動事業」「子育て支援事業」「広報事業」を推進してまいります。理事会が担当する「渉外部」では「柏市民活動フェスタ」「柏まつり」「ぽかぽか市」「柏市放課後子ども教室・ステップアップ」などを実施します。

今年度の重点課題は次ぎの二つとなりました。

- ☆ 他団体や組織と積極的に出会い関係づくりを目指す。
- ☆ 「公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）」に積極的に取り組む。

他団体や組織と積極的に出会い関係づくりを目指す。

7月に代表、事務局長、理事が今までもお世話になっている社協（柏市社会福祉協議会）の事務局を訪問しました。当会の活動内容のご説明をさせていただき、これから更に関係を深めるべくお話し合いをさせていただきました。

柏まつりは柏市商工会議所が参加者の窓口でし

たが今年から分割されることになり、当会は社協さんが窓口になりました。当会は「こどものおもちゃ屋さん」として、毎年子どもたちが楽しみに待っていてくれます。ここで、社協が行っている「夏ボラ 2014」に、当会も参加し、中高生を対象に「お店で売り子のほか、前日の準備」のボランティアを募集しました。5人の申し込みがあり、我々スタッフとともに、皆さん頑張ってくださいました。これが、有意義な活動、経験になってもらえたら嬉しく思います。

社協とは「にこにこデイズ」（沼南）、「ファミサポお話し会」（そごう、モラージュ）などでも連携ができるのではと思います。これからさらに関係が深めてまいります。

その他の団体・組織の方々とも連携を深めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）」に積極的に取り組む。

「鑑賞事業」では優れた生の舞台の鑑賞会をこどもや保護者の皆様にお届けしたいと考えています。しかしながら、当会の資金だけでは難しい問題もあり、柏市協働推進課が進めている「公益活動促進基金（柏市・愛らぶ基金）」に積極的に取り組むこととしました。今年度いただいた基金は

新連載 明橋先生の子育てハッピーコラム③
《子どもの権利条約批准 20年特別企画》(p3)



6月に開催した「ねずみのすもう（人形芝居燕座）」と12月開催予定の「チカパンの大道芸！！（パントマイム☆プラネット）」で活用させていただきます。

今後は「鑑賞事業」だけでなく他の事業でも活用を考えていきたいと思っております。

引き続き皆様のご支援・ご協力をお願いします。



「夏休み放課後子ども教室」

（柏市教育委員会） に協力

8月1日、子どもの表現活動部は、青少年センターでの「ポップアップカードをつくろう！」の講座を企画し講師をつとめました。この事業は、”子ども達に有意義な夏休みを過ごしてもらいたい”との目的で、柏市が企画した夏休み放課後子ども教室の取り組みに協力したものです。当日は、1年生から6年生まで17名が参加してくれました。4つのテーブルに分かれ、それぞれにスタッフ1名がついて、楽しい1時間半を過ごしました。

ポップアップカードというのは、開くと何かが飛び出したり、動いたりする仕掛けのあるカードのことです。今回はくちばしの形が飛び出す仕掛けをもとに、自由な発想で作品にしあげてもらいました。くちばしの仕掛けを作るには、カッターを使う作業があります。自分でやりたいという子には安全を見守り、カッターの使い方に慣れていない子には、ポイントを指導したり手助けをしたりの対応をしました。くちばしを取り付けるまでは、緊張気味の子もいましたが、そのあとの飾り付けはとても生き生きと楽しんでいました。レース、ビーズ、スパンコール、モールその他さまざまな



ポップアップカードできました

材料を思い思いに使いこなし、それぞれ個性あふれる作品ができました。初めて出会った子同士が徐々に打ち解け、スタッフや周りの子ども達とも言葉を交わす様子に、創作を通じて心が解放されていくのが実感されました。出来上がった作品を見せ合うときにはとっても嬉しそうでした。

ちばぎんハートフル福祉基金助成事業



「アートが育むママと赤ちゃんの心 『ここはぐ』」

千葉銀行では地域社会に貢献するため「ちばぎんハートフル福祉基金」を設けています。

今年こどもすぱーすは初めて申請し、助成していただくことに決まりました。

助成対象事業は「アートが育むママと赤ちゃんの心『ここはぐ』」です。

0,1,2歳の親子を対象とした、音楽会、わらべうたワークショップ、美術ワークショップです。

10月9日（木）の音楽会を皮切りに、事業を展開してまいります。

お膝の上で過ごす時期は限られているから。すてきな親子の時間を過ごしてください。

🌸 アートが育むママと赤ちゃんの心 🌸
「ここはぐ」

- ① はじめての音楽会
10月9日（木）
アミュゼ柏1階 プラザ
- ② わらべうたワークショップ
10月10日（金）
社会福祉会館（中央公民館）2階 和室
- ③ はじめての美術
10月22日（水）、29日（水）
社会福祉会館（中央公民館）2階 和室

参加費

①	1,000円
②	500円
③	1,000円
①②③ 通し	2,000円（親子一組）



明橋先生の

子育てハッピーコラム③

子どもの話を聞きましょう。

真剣に聞くだけで、あなたは大切な存在だよ、と伝えることになります。

『日めくり子育てハッピーカレンダー（1万年堂出版発行）』より”

「何かあったの?」「そうなの」「それはたいへんだったねえ」と、しっかり話を聞いて、子どもの気持ちを受け止めるだけで、子どもは、すごく自分が大切にしてもらえたという気持ちになります。

子どもの話を聞くときに大切なポイントを挙げてみます。

①子どもの話している時間より、自分の話している時間のほうが、長くならないようにする。

親のほうの話している時間が長いと、どちらが話を聞いているのかわかりません。

②大きくうなずいて、「そうか、そうか」と言って聞く。

自分から積極的にアクションを起こすことで、子どもの話を引き出すことができます。いちばん簡単で有効なのは、「そうか、そうか」と、相手の話を聞くときにうなずくことです。うなずいてもらうと、自分の話を聞いてもらっている気がして、話しやすくなります。私もいろんな所で話をしますが、時々、「うん、うん」と、うなずいてくださる方がいると、うれしくなって話しやすくなります。ところが、だれもうなずかない、微動だにしない所だと、壁に向かって話しているようで非常に話しづらいのです。それは子どもでも同じです。

③相手の言葉を繰り返す。

「いやだったんだね」「こうこう言われて、傷ついたらんだね」

同じ言葉なので意味ないじゃないか、と思われるかもしれませんが、同じ言葉でも相手から返ってくると、非常によくわかってもらえたという感じがするのです。

ところが私たちは、ついつい、同じ言葉を繰り返すのでなく、答えを言ってしまいます。答えは、だいたい子どももわかっているのです。じゃあ、わかっているのになぜ言うのかというと、悔しい気持ち、腹立った気持ちをわかってほしくて言っているのです。

だからこちらは「わかったよ」ということだけを伝えればいいのです。

子どもが全然話をしてこない、学校のことを聞いても言わない、ということがありますが、たいてい、そういう場合は、何か子どもが一つ言ったら十くらい返しているのです。

「どうしてそんなことしたの!」と、だいたい否定されるようなことが返ってくる。そうすると、言えば言うだけ叱られることになり、言わなくなります。

「ふん、ふん」と聞いていると、だんだん子どもはしゃべるようになります。

学校から帰ってきたら、顔じゅう口にしてしゃべるようになります。



※『日めくり子育てハッピーカレンダー』は、「子育てハッピーアドバイス」シリーズの中から、人気の高い言葉を集めた31日分の日めくりカレンダーです。

■プロフィール

明橋 大二（あけはし だいじ）

心療内科医、真生会富山病院心療内科部長、児童相談所嘱託医、スクールカウンセラー。

著書『なぜ生きる』（共著）『輝ける子』

『子育てハッピーアドバイス』ほか多数。子どもの権利条約に基づき、子ども支援の様々な活動・啓発を行うNPO「子どもの権利支援センターぱれっと」理事長としても活躍なさっています。



ふれあいキャンプ2014

8月1日(金)～3日(日)

浦山口キャンプ場(埼玉県秩父市)



小さい子ども料理のお手伝い

今年も2泊3日の「ふれあいキャンプ」に参加者、スタッフ含め57名で行ってきました。場所は秩父市の清流が流れる、自然の中にあるキャンプ場です。

このキャンプは、参加者全員が大きな家族となり、自然の中で日常生活では得られない体験や経験をすることで、自然を大切にする、他者への思いやり、そして何より自分が大切な存在であることを実感してほしいという思いから毎年実施しています。

当会では2010年度から毎年、『子どもゆめ基金』の助成を受けてキャンプを行っています。この基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、地域の草の根団体が実施する体験活動や特色ある新たな取り組み、体験活動等の裾野を広げるような活動を中心に支援を行っています。体験活動の分野では、申請件数に対し、75%前後が採択されます。ふれあいキャンプが毎年採択されるということは、子どもゆめ基金に私たちの活動が認められているという事でしょう。今年も子どもゆめ基金の助成を受けることで、充実したキャンプを低料金で届けることが出来ました。

体験活動に関する調査では、「子どもの頃の体験が豊富な大人ほど、やる気や生きがいを持っている人が多い」「友達の多い子どもほど学校好き」「憧

れる大人のいる子どもほど働くことに意欲的」など、子どもの頃の体験はその後の人生に影響することが示唆される結果が出ています。(子どもゆめ基金冊子より抜粋)

これまでのあそび事業を続けてきて、あそびやキャンプ等の体験活動は、子ども達にとって、必要不可欠なものだと実感しています。これからも大いにあそびたいと思います。



大人も川の中でコミュニケーション



川あそび



水の中に何かいる！？



川の石にペイントしました



キャンプのしおり

スケジュール

- 8月1日 8:30 柏発
12:00 キャンプ場到着
午後 川あそび
夜 「怖いお話し」
- 8月2日 午前 ネイチャーハイク、ダム・資料館見学
午後 川あそび
夜 キャンプファイアー、花火
- 8月3日 午前 石にペイント
お昼・スイカ割りの後
キャンプ場発
18:00 柏着



集合写真



スイカ割り

寄稿

『ねずみのすもう』
柏公演を終えて

くすのき燕氏

久しぶりのこどもすべす柏での公演でした。調べてみたら、2009年以來5年ぶりでした。なので、カンクローや紅子ちゃんたちを除けば、その分だけ僕も見知った顔の皆さんも年を取ったはずなのですが、そんな事を含めて、そんなに経ったのかな？という感じでした。

以前と変わらずに子ども達はその空間にいてくれるせいかもしれませんね。

先日の公演では、色々な年齢の子どもたちが、大人たちとともに、同じ空気をすって、同じものを見て聞いて、笑っていただきました。僕は、そういった時間ほど、豊かで贅沢な時間はないと考えます。一方、この国の多くの人たちが、こういう時間をもっと過ごそうとしない事を残念に思っています。生の舞台を見さえすれば、子ども達はうまい事育つなんて幻想は抱いていませんが、生の舞台を家族と共有する経験を持たずに育つのは、なんともったいない事なのだろうと考えています。もちろん、様々な理由で、それが困難な子ども達がこの国にいるという事実も受け止めなければいけません。ファミリーレストランに行く、スマートフォンの料金を払い続ける。それくらいの余裕があるのなら、たまに子どもたちと一緒に、お芝居をみたり、音楽を聴いたりしてもいいんじゃないのかなあと思います。

これを読んでくださるあなたは、きっと、「そっだよねえ」とか、「ホントホント」とか思ってくださいかと思えます。ため息をつきたくはなりませんが、あきらめずにこういった時間をこの国に、いや、とりあえず柏に残しましょうね。

それでは、また。どうもありがとうございました。



や固定された客席のあるホールでの演劇はこころばらくありませんでした。

リリオホールは柏から行きやすく、久々の“お出かけ鑑賞会”としてふさわしいと思いました。劇団うりんこのダイナミックな舞台劇を、たくさんの親子が楽しみました。

松元ヒロソロライブ

9月13日(土) 19:00 開演
アミュゼ柏クリスタルホール



2年前に柏で公演した時、大変ご好評をいただいたライブの再演です。新しいネタもあり、前回よりさらにパワーアップした笑いをお届けします。普段の事業は会員が企画・運営をしていますが、この事業は市民活動フェスタなどで一般の方からも実行委員を募り、進めています。

実行委員は真夏の暑さにも負けず、ローラー作戦と称し街なかにポスターを貼って歩きました。皆さんも目にしてくださっているでしょうか。政治・社会を笑い飛ばすヒロさん。1時間半私たちも笑っぱなしです。

大人が元気になるないと、子どもたちも元気になるません。ぜひたくさんの方に来ていただき、大いに笑いましょう(中高生以上入場可)。



おやこ舞台鑑賞会 ぼくはにんじゃのあやし丸

7月19日(土) かめありリリオホール

都内にはいくつか、駅に隣接した劇場があります。柏に近いところでは、亀有にある「リリオホール」でしょうか。

このたび、劇団うりんこのお誘いを受け、7月の公演を「おやこ舞台鑑賞会」の一つとして取り組むことにしました。

日頃こどもすぺーすではアミュゼ柏を利用して親子に向けて鑑賞会を企画していますが、ステージ

松元ヒロ
ソロライブ
故 談志が最も愛した芸人

(特) NPOこどもすぺーす 舞台鑑賞会

主催・企画・実行
(特) NPOこどもすぺーす 柏
277-0081 柏市富田2-3-25
電話/FAX 04-7169-8451
電子メール info@kodomospace.org

日時 2014年9月13日(土) 19:00開演
18:30開場 20:30終演(予定)
会場 アミュゼ柏 クリスタルホール
当日 一般2000円 中学生1000円
小学生以下は入場できません

チケット料金 全席自由(小学生以下は入場できません)
前売 一般2000円 中学生1000円
当日 一般2000円 中学生1300円
チケット取り扱い

※特) NPOこどもすぺーす 柏 TEL/FAX 04-7169-8451
※東京駅前店 04-7164-2040(劇場口スライダ付)
※東京駅前店 04-7164-1111(1F)
※アミュゼ柏リブックス(他郵便振込可) 04-7100-8986
※アックススズキ(他取付/日付中継) 04-7132-5870
※インターネット(銀行振込・代金引換) 豊河屋運動中
http://g1.rggi.dosseu.net/ にアクセス

理事長の徒然

井野口典子

八月最後の週、いきなり十月の気温になり既に暑さが懐かしいほどです。八月の初めにみんなで行ったキャンプも遠い思い出のように感じます。

八月は「ふれあいキャンプ2014」で始まりました。約六〇名が大きな家族になって二泊三日、自然の中で過ごします。(詳しくは本誌中ページを見て下さい。)

二日目の夕方の光景です。お母さんたちは料理、お父さんたちは火起こしや火加減を絶妙に調整しお母さんたちをサポート。初めは手伝っていた子どもたちは、いつの間にかいなくなり、虫取りに興じる子、河原で遊ぶ子、バンガローでおしゃべりを楽しむ子、鬼ごっこをしている子、または最後まで熱心に食事作りを手伝う子と自由に過ごしています。お母さんたちに「おすすく御飯やー」と呼ばれ、おなかをぺこぺこにした子どもたちが集まって来ます。たくさんのお話が生まれ、幸せな時間です。

テレビもゲームもなく、もちろん塾もないこの過ごし方こそが、子どもたちのあるべき姿なのではと感じ、時間に追われて過ごす日々は何のためなのかと考えてしまいました。

キャンプ翌日から私は、二泊三日で生まれて初めてヒロシマを訪れました。ヒロシマには、六日の平和記念式典を前に、世界中から平和を

愛する人々が集まっています。

私は、ヒロシマ・ナガサキの原爆の被害にあった親や子どもの手記を構成した朗読劇を行なう会、「栢・麦わらぼうしの会」に参加しています。この会は、原爆や戦争の恐ろしさ、平和の尊さ、命の大切さを伝えたいと、毎年夏に公演を行っています。この夏も八月二四日に我孫子駅横のけやきプラザのホールで公演を行いました。また、年に約十校、栢市内の小学校でも小さな公演をやらせて頂いています。

広島では、栢市平和都市宣言三〇周年記念事業として派遣された栢市の中学生八名と共に、鎮魂の思いを込め式典に参列させていただきました。また、朗読劇の中で読み続けてきた子どもたちの面影に触れたいと、碑や、飛び込んだであろう川、通っていた小学校などを訪ねました。

二度と戦争はいやです。戦争のない平和な世界がいつか実現すること、少しずつでもそれに近づくこと。戦争でどの子どもも命も亡くしたくないのです。

キャンプ場で生き生きと過ごす子どもたちを見ても、平和が続くことを心から願う止まないのです。

その後、広島で大きな災害が起きてしまいました。大切な人を亡くされた方の気持ちを想うと、いたたまれません。亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

Cha Cha Cha

今どきの小学生は男女問わず『恋バナ』が盛らしい。前号で紹介した、私に「英語の時間、聖奈が、I'm alone.」って言ってたよ、よかったね」と言っていたシン君。実は聖奈ちゃんの事を好きだったことが判明した。ある日、「今日、聖奈に告った」と言う。なに、なに、私は余りにいつものシン君らしからぬ言動に驚き、「こくったって、好きだって言ったの?」「凄い勇気だね、何で今なの?」と聞くと、

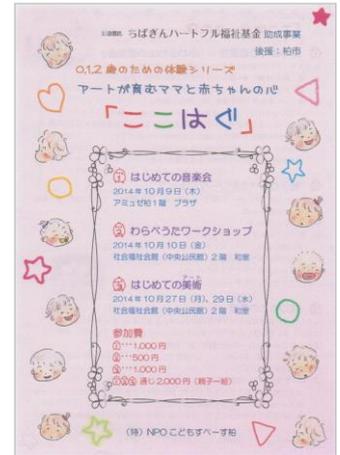
クラスのみんなは、特に女子は恋バナがすきだから、すぐに噂になる。噂で知られるよりは、先に言ってしまう方が聖奈もイヤな気持ちにならないだろうし、自分も噂の渦中にならずにすむから。この事だった。ほお、お見事。感心してしまった。クラスの何人か集まると誰が誰を好きだとか、嫌いだとか、そんな話をしているらしい。噂の怖さも知っていて、相手に本当の気持ちをちゃんと伝えるタイミングを考えて告白するなんて、あっぱれ!

後日、聖奈ちゃんとも会ったけれど告白されたなんて言う訳もなく。これまた、大人な対応。夏休みに入り、またシン君「カラオケ行くん」えー誰と? 「聖奈と。他にもいるよ、親付きだよ」との事。先日、カラオケどうだった?と聞くと「ボウリングになったよ」ガーターしなかった?

「ガーターがないレインだよ!」
「ヘエ、そんなのあるんだ。これで完璧ボウリング楽しくできたら、可愛げないなあ。ガーターなしなあ...やっぱり小学生だね、なんか安心した。」

《こどもスペース これからの予定》

9月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3 イオンおはなし会 子育て支援部	4	5	6	7
8 鑑賞部会 理事会	9	10	11	12	13 松元ヒロ ソロライブ	14
15 敬老の日	16	17	18	19	20	21
22	23 秋分の日	24 理事会	25	26	27	28
29	30 会費受付日 ポレポレ					



詳しくは p.2 をご覧下さい

ダイキャンプ

日時：2014年 **11月16日** (日)

9:30~16:00 (9:00より受付開始)

場所：手賀の丘公園キャンプ場

集合：どなたの服装でも受付し事後(清潔な服装)

参加費：一般 小学生以上900円・幼児(3才以上)700円
 ・会員 小学生以上700円・幼児(3才以上)500円
 (お参加の方、及び小学3年生まで保護者同伴)

定員：50名

申込：10/21日 10:30~22日 16:00の2日間に、電話、FAX、メールで申し込みください。(電話 10/21~16/00)

定員を超えた場合は、家族・グループ単位で抽選いたします。
 結果は早急にお知らせいたします。
 空席は随時キャンセル可能。その際も電話のみで行われます。

お申し込み：11月15日以前、一般700円、会員500円

雨天決行・荒天中止
 (ブログ <http://kodomospace.sblo.jp/> でもお知らせします)

当日お問合せ先 080-3488-1949 (携帯)

〒277-0081 千葉県船橋区新船橋2-3-26
 TEL/FAX: 04-7169-8451
 http://kodomospace.sblo.jp/
 info@kodomospace.org

毎回好評のダイキャンプ
 応募者多数の場合は抽選と
 いたします。
 10/21・22の両日にお申し込み
 ください

10月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4 世界でひとつだけの絵本づくり①	5
6	7 理事会	8	9「ここはぐ」 ①ふわふわ山の音楽会	10「ここはぐ」 ②わらべうた	11	12
13 体育の日	14	15	16	17	18 世界でひとつだけの絵本づくり②	19
20 くりの木幼稚園に協力	21	22	23	24 理事会	25	26
27「ここはぐ」 ③アート1	28	29「ここはぐ」 ③アート2	30 ポレポレ	31 会費受付日		

は事務所は開いていません

皆様のご厚意はすべて子ども達の未来のために使われます。

会員募集	賛助会員募集
一緒に子どもたちのことを考えましょう。	会の趣旨に賛同して下さる方を募集しています。
入会金 正会員 1000円/世帯	賛助金 個人 年 3000円/口
会費 正会員 1500円/月	法人 年 10000円/口
家族会員 500円/年	鑑賞会に年1回ご招待、
ユース会員 500円/年	ニュースレターなどお送りします。
ほかに年100円の保険料がかかります。	

振込先：郵便振替 00160-3-684258

記載されているすべてのイベント・内容については、事務所までお問い合わせ・お申込みください。
 または会のブログ <http://kodomospace.sblo.jp/> をご覧ください。